

千葉県図書館・文書館・博物館等施設の概要

	館名	所在地	開館	敷地面積	延床面積	収蔵資料点数	現状	課題
図書館	中央図書館	千葉市中央区	昭和43年	5,600㎡	6,171㎡	868,035冊	県民の調査研究活動の支援及び県内市町村立図書館等読書施設への協力・援助に資する資料を収集しており、特に中央図書館では千葉県関係資料、児童資料及び児童書研究資料の充実を図るほか、学校支援用の図書を整備する。西部図書館では自然科学・技術分野の資料を、東部図書館では文学・歴史分野の資料を重点的に収集する。県民への直接サービスのほか、県内市町村図書館に対し、資料、レファレンス、研修、運営相談等の支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の市町村立図書館の設置率は全国水準を下回り、15の市町村が図書館未設置の状態。 ・資料と職員が3館に分散し、専門的な調査相談に迅速に対応することが困難。 ・千葉県関係資料のすべてを網羅的に収集できておらず、また他機関の所蔵情報を横断的に検索できる仕組みも未整備。 ・書庫の狭隘化（収蔵率は9割超）。 ・中央図書館の老朽化と耐震不足。
	西部図書館	松戸市	昭和62年	5,236㎡	3,261㎡	275,958冊		
	東部図書館	旭市	平成10年	4,094㎡	3,590㎡	281,621冊		
文書館	県文書館	千葉市中央区	昭和63年	2,209㎡	6,009㎡	古文書 約531,000点 県史収集複製資料 約242,000点 行政資料 約102,000冊 公文書 約116,000冊	<p>県の公文書、房総の歴史を跡づける古文書その他の資料を系統的に収集保存し、その活用を図るとともに、県の行政に関する情報を提供し、県民の郷土に対する理解、県政に対する関心に応える。収蔵資料の閲覧のほか、常設展及び企画展の実施、古文書講座等講座・講演会の開催、行政資料の販売等を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化により、適切な資料保存のための温湿度管理が困難。 ・書庫の狭隘化（収蔵率は約8割）。 ・資料検索システムを館内でしか利用できず、利用者にとって利便性が低い。
博物館	中央博物館 (ほか7館)	千葉市中央区 (※)	平成元年 (※)	13,178㎡ (※)	15,254㎡ (※)	989,386点 (全館合計1,129,699点)	<p>中央博物館、中央博物館大多喜城分館、中央博物館大利根分館、中央博物館分館海の博物館、関宿城博物館、房総のむら、現代産業科学館、美術館の8館が県内に設置されており、それぞれの立地地域や専門性に基づく企画・展示、調査研究等を実施している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性、対象地域が異なる複数の施設が分散配置。 ・全館的な施設・設備の老朽化。 ・収蔵スペースの狭隘化（平均収納率92.1%）。 ・文献・古文書・古絵図等の閲覧システムが未整備。

※データは中央博物館のもの。